

7 介護マニュアル作成の進捗状況について

自立支援局総合相談支援部総合支援課 峯野雄一郎、小田順治、土屋温子、若杉美麻子
加美山隆俊、相内秀明、土門悠、小澤重矢子、小松原正道

1 介護マニュアル作成の経緯

自立支援局における介護業務は頸髄損傷者の機能訓練を開始した平成20年9月より、東棟宿舎を中心としてサービスを実施している。当初は頸髄損傷者の身体介護やリハビリテーション施設での業務が未経験の介護員が多い事もあり、身体介助を行う際の方法や手順についてのマニュアル作成であった。今回は本年度に作成・見直したマニュアル等について報告する。

今後は伊東センターとの統合を見据えて、実施中の介護業務を整理する事により、統合後に円滑に業務が推進出来るように準備を進める事としている。

2 本年度に作成・見直した主なマニュアルについて

① 新入所オリエンテーション

作成のポイント：担当介護員の業務について、入所前の確認事項内容を改定

② 入浴（体調不良時）

作成のポイント：体調不良時の連絡、報告手順書を作成

③ 病院受診・付き添い

作成のポイント：受診付き添い時の手順書を作成

④ 見守り支援について（移乗動作の見守りチェック表）

作成のポイント：直角トランスでの移乗動作時に、車いすのブレーキのロックやベッドのストッパーの状態等の確認すべきポイントを記載した一覧表を改定

3 今後の予定

今後も、継続して業務のマニュアル化を進めると共に作成したマニュアルについても環境や介護員の工夫に合わせての追加や見直しを行っていく。また、利用者個々の機能向上に合わせて個別支援の対応を行うことを目的としており、医師等とのスタッフミーティングにより部門間で情報を共有し介護を行い、マニュアルに加えていく事としている。

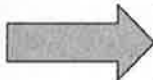
作成したマニュアルを元に介護講話を実施しており、利用者が家庭に戻られた際や復職した場合に利用者自身が介助者に対して、自らの身体状況や依頼したい介助内容を伝えることが出来る様に講習や実演指導している。毎回、利用者アンケートを取り意見や要望を集計する事で、介護講話の内容の改良・充実を図り、フィードバックを得ることでマニュアルの改良や介護職員のスキルアップに繋がるものと考えている。

マニュアルの一例

作成・改定したマニュアル

- ① 新入所オリエンテーション（改定）
- ② 入浴（体調不良時）
- ③ 病院受診・付き添い
- ④ 見守り支援について（改定）
- ⑤ 起床・臥床時の巡回マニュアル
- ⑥ ベッドメイキングのチェックマニュアル（改定）
- ⑦ 洗濯動作の一覧表（改定）

ひとつひとつの動作について、チェックポイントを羅列した一覧表を作成。



方向転換の準備	ベッド上での方向転換時にカテーテルや尿バッグが手や足の下に巻き込まれていないか確認する。 引っ張られていないか確認する。 手や足がベッド下に挟み込まれていないか確認する。
トランスボードまで移動する準備	マット上よりトランスボードに移動する際には、マットが滑っていないかトランスボードは正しく取り付けられているか確認する。 ベッドのストッパーが抜けているか確認する。
トランスボードから寝いずに移動する準備	寝いずのブレーキが抜けているか確認する。 トランスボードと寝いずの間に隙間がないか確認する。 クッションの上に着が滑らせないか確認する。 また、空気が取付いていないか確認する。 移動時に寝いずの端が滑らないか確認する。
移動後に足を下ろす準備	寝いずを後退させる際、前方に足の踏みかたがフタに巻き込まれていないか確認する。 足は、利用者が寝ている高さ位置に揃っているか確認する。 カテーテルや尿バッグがベッド下・クッション等に引っかかっているか確認する。 利用者が靴を履き、床のバランスポップ等は、適切に立ち昇降を支えられるようにしておく。

マニュアルの一例②（介護講話資料）

身近にあるものを加工して、使い易く改良した商品や、安価で手に入り、自助具の代用となる商品を紹介した。

介護講話資料（生活上グッズについて）

	グループの調理、万歳カフに差し込んで使用出来るように、先端の樹脂チップに取り替えて取り付けて活用しました。
	カップやコップ等に、足を取り付けることで、持ち運びが容易になります。
	紐やテープで固定し、素材高質のボトルにビニールテープで保護を付けて活用しました。
	裏に引っ掛けてマットと固定、リネン類を引っ掛けて洗濯機からの取り出し操作が容易に行える様に、両端ネットのファスナー部分に金網製のリングを取り付けました。 （プラスチック製では、洗濯機を使用した場合に壊れる場合があります）。

外出・外泊等に携帯しておく自立グッズ

	より細いネット。 （使いずのファスナーの下に置くことで、トランスボードに滑りやすくなるのを防止したり、履き足サイズにカットして移動時に履きやすくなるのを防止します。また、ポットに滑りにくいようにすることで履きやすくなります）。
	マジックハンド。
	専用トイレ。 （自宅まで持ち帰って外出で専用専用トイレが無い場合に、用意しておくことで使用です）。
	ペビーローフック。 （使いずのブレーキに取り付けて、自助具や尿バッグの固定等に活用です）。